

2022年度町田市教育委員会

第7回定例会会議録

- 1、開催日 2022年10月7日
- 2、開催場所 第二、三、四、五会議室
- 3、出席者 教 育 長 坂 本 修 一
 委 員 後 藤 良 秀
 委 員 森 山 賢 一
 委 員 井 上 由 奈
 委 員 関 根 美 咲
- 4、署名者 教育長
 委 員
- 5、出席事務局職員 学校教育部長 石 坂 泰 弘
 生涯学習部長 佐 藤 浩 子
 教育総務課長 高 田 正 人
 指導室長 小 池 木綿子
 (兼) 指導課長
 指導課統括指導主事 谷 山 優 司
 生涯学習総務課長 江波戸 恵 子
 生涯学習総務課担当課長 貴 志 高 陽
 生涯学習センター長 西久保 陽 子
 生涯学習センター担当課長 平 林 隆 彦
 図書館長 中 嶋 真
 図書館副館長 本 郷 剛
 市民文学館担当課長 野 澤 茂 樹
 (町田市民文学館長)
 書 記 馬 目 拓 実

書	記	阿部 榛果
書	記	齊藤 華子
書	記	板垣 有美子
速記士		帯刀 道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第20号 町田市教育委員会会計年度任用職員の報酬に関する規程の一部を改正する
規程について 原案可決

7、傍聴者数 2名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 開会前に1点お伝えいたします。本日は、報道機関1社から事前に録音の申請がございました。録音については自席で行っていただくという条件で、この1社のみ許可しておりますので、ご承知おきをいただきたいと思います。

ただいまから町田市教育委員会第7回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は後藤委員です。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、私からは、この間、町田市議会の9月議会の対応や定例的な会議等への出席がほとんどでございまして、行事等への出席にかかわる特段の報告はございません。

主な活動については、お配りしております資料のとおりでございます。

それでは、各委員の皆様からご報告をお願いいたします。

○後藤委員 10月4日に第2回中学校連合体育大会を視察しました。秋晴れのもと、各中学校の代表生徒が、大変躍動感のある走り、あるいは跳躍、そして互いを応援する姿やたたえ合う姿、それらを見せてくれました。町田市立中学校20校が集まって学び合う連合体育大会ですが、生徒にとっては大変貴重な経験であるということを見ていて実感し

たところ。来週 13 日、14 日には小学校の連合体育大会が開催されますが、ここでの 42 校の小学校 6 年生の活躍が今から楽しみなところ。です。

最近では学校の連合行事を取りやめる自治体もあると聞いています。各学校で実施する運動会や体育大会を通して、例えば規律ある集団行動、運動に親しむ態度、責任感や連帯感の育成、体力の向上、それらに加え、互いに競い合って、認め合って、励まし合って、学校ごとに、あるいは町田市全体としての連帯感を高める場になる。それがひいては母校愛や郷土愛をも涵養することにつながっていくのではないかと考えているところ。です。

当然その準備や運営、あるいは指導なども含めて、校長先生を初めとする関係の教職員の皆さん、あるいはボランティアの皆さんには大変お力添えをいただいているところ。です。ぜひ町田市の子どもたちのために、大変ではありますけれども、このような価値ある連合行事が続いていくことを期待しております。

私からは以上です。

○森山委員 私のほうからは、中学校の連合体育大会については後藤委員からお話がありましたので省略をして、南大谷中学校に市教委訪問に出席をさせていただいた点だけ、ご報告させていただきます。

小島校長先生のもと、全てのクラスを見せていただいたのですが、クラスも学年も含めて学校自体が非常に落ちついて、授業に参加する生徒の態度について非常にしっかりとした対応がなされていると実感しました。

加えて、学校の環境ですが、特に掃除が非常に行き届いていて、大分古い校舎といえますか、いろいろなところで課題もありましたけれども、特にきれいに使っているという感じがすごくしました。日ごろからの学校の掃除とか、徹底してきちんと整頓するとか、そういうことがクラス、学校の全体に行き届いているという感じがしました。

最後に、ICT活用についてです。授業の中での利活用ということで、私もそこに焦点を合わせて見せていただきました。中学校は、小学校に比べてICTの活用の工夫がなかなか見られない学校等もよくあると伺っていたわけですがけれども、教科によっては非常にICTを活用しておられました。内容ももちろんさることながら、いわゆる活用するという力自体、使い方ということについて、理科等の授業の中で非常に積極的に生かしている、そんなような光景も見せていただきました。非常に落ちついた学校で、生徒がしっかりと授業に取り組む態度をすごく実感したところ。です。

以上です。

○井上委員 前回の定例会に出席することができませんでしたので、少しさかのぼりますが、そこでお話ししようと思っていたことをまず最初にお話しいたします。

夏休み中のある日の昼下がり、町田駅のバスセンターに並んでいたところ、鶴二中のサッカー部員と見られる男子生徒が数名、たくさんの荷物やボールを抱えてバス停にあらわれました。どうやら乗るバスがわからないようで、行き方が記載されてあるプリントを見ながら、バスの運転手さんに「〇〇には行きますか」と、3台ぐらいに一生懸命話しかけて確認。リーダーを筆頭に、カルガモのように列になって行ったり来たり。

たまたま同じバスに乗ったのですが、荷物がほかの人の邪魔にならないように端に寄せるなど配慮したり、乗り過ぎさないようにずっと電光掲示板とにらめっこし、みんなで「あと何駅?」、「時間に間に合うかな?」と小声で確認し、静かにおとなしく窓の外を眺めていました。

だんだんと人が降りていき、車内がすいても立っていたら、運転手さんに「危ないから、席があいていたら座ってね」と促され、申しわけなさそうに着席。バスを降りた後も、紙を見ながら、どちらへ行くか悩んでいたのも、窓から指を指して、あっちだよとジェスチャーをすると、深々とおじぎをしてくれました。

教員委員として市教委訪問や式典にお邪魔することはありますが、それ以外で児童・生徒の皆さんに出会う機会というのはなかなかなく、我が家にも運動部に所属している中学生の息子がおりますので、今回は母のような気持ちで見守りましたが、一市民として見ても、とてもマナーがよく、礼儀正しい子どもたちだったことを誇らしく思いました。これは日常の一コマの話ですが、教育委員として地域の皆様に愛される子どもたちを育てていきたいと強く感じました。

さて、9月の活動報告としましては、市教委訪問で3つの学校を拝見いたしました。

9月21日の高ヶ坂小学校では、ところどころに伝統を重んじた手づくりの温かさを感じる校内で、1学級当たりの人数が25人前後ということもあり、一人ひとりの机の間隔や空間が広々としてゆとりを感じました。

また、9月28日の南大谷中学校の校内は、とても清潔感があり、掲示物が非常に見やすく、中3はとても静かで落ちついていて、中2は積極的に意見を出し合う姿が見られ、中1は元気よく挨拶をしてくれて、学校の雰囲気の高さを感じることができました。

そして、10月6日の鶴川第一小学校は、明るく開放感のある校舎で、子どもたちはとても素直で、飾らない様子を見せていただいたような気がします。

どの学校も教員の平均年齢が若く、今後の課題として、若手教員の育成にさらに力を入れていかなければならないのではないかと感じました。また、音楽の授業や学芸会の練習をのぞいたところ、大分合唱が再開できている様子が見受けられました。子どもたちの歌声というのは本当に心が洗われます。早く「うたひびくまちだ」が帰ってくるといいなと思いました。

私からは以上です。

○関根委員 私からは、活動の中から2点ご報告をさせていただきます。

10月4日には、秋晴れのすがすがしいお天気の中で開催された中学校連合体育大会にお伺いしてまいりました。それぞれの学校の生徒が、学校の枠を超えてお互いをたたえ合ったり、親しく話しているのを見て、とても微笑ましく思いました。

個人個人がそれぞれの競技に真剣に取り組んでいましたが、今回は東京都の大会につながるものではなかったため、生徒たちは心なしか伸び伸びと体を動かすことを楽しんでいるようにも見えました。それでも、あまりに一生懸命走り過ぎたのか、競技終了後に倒れた生徒もいたようですが、大事には至らなかったようで安心いたしました。

今年は開催日が中間テストの前日という学校も多くあり、参加人数が少なかったようです。来年は実施時期も考慮し、たくさんの子どもたちが参加できるようにしていただくとありがたいです。町田市内の子どもたちの体力向上のための取り組みの一環として、今後もぜひ続けていただきたいと思っております。

昨日になりますが、10月6日には、市教委訪問で、鶴川第一小学校にお伺いしてまいりました。100名以上が路線バスで通学しているという学区がとても広い地域の学校です。校舎も新しく、ソーラーパネルで発電する電気を使用したり、図書館の横にラーニングルームがあったり、屋上にはプールや緑地もあります。多目的室も複数あり、子どもたちの活動はもちろん、地域の交流の場にも使えて、とても便利だとお聞きしました。何より、学校全体がゆったりとつくられているので、教室の個人ロッカーも広く、児童の机周りもすっきりしており、先生方の机間巡視や指導もスムーズに行われておりました。

児童の様子ですが、全体的には落ちついている印象を受けました。それぞれの学年で集中しながら学習できていたと思います。特に6年生はさすが最高学年らしく、授業態度がとても立派でした。ただ、3年生に少し落ちつきのないクラスもありましたが、若い担任の先生を含めて、ベテランの先生方の助言もいただきながら、今後は学校全体で見守りながら、改善していただければと思います。

また、教室には、それぞれのクラスの子どもたちの手でつくられた掲示物がたくさんありました。例えば「いいところ見つけましたボード」や、クラス目標、「係の仕事へのご意見・お手紙ポスト」などなど、工夫を凝らしたものが多く、そこから普段の子どもたちの生活の様子がうかがえました。

また、午前中ではありましたが、地域講師の先生を初め、ボランティアコーディネーター、「まちとも」のお手伝いの方々など、地域の方々が当たり前のように学校でお仕事をされているのを見て、地域に見守られた温かい学校であるとともに、地域学校協働活動がしっかりと根づいていると感じました。

私からは以上です。

○**教育長** そのほかに事務局も含めて報告あるいはご質問などありましたらお願いします。――よろしいですか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第20号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明申し上げます。

○**学校教育部長** 議案第20号「町田市教育委員会会計年度任用職員の報酬に関する規程の一部を改正する規程について」、ご説明申し上げます。

本件は、東京都最低賃金の引き上げに伴い、会計年度補助職員の一部の職種の報酬の額を増額するため、及び他自治体における保育士（補助）の報酬の額を踏まえ、当該職種の報酬の額を増額するため、改正するものです。

1枚おめくりいただきまして、2「改正内容」についてでございます。

勤務1時間当たりの報酬の額（以下「時間単価」という。）が東京都最低賃金の1,072円を下回ることになる一般事務（補助）、一般労務（補助）、保育補助員及び生活指導補助員の時間単価を1,050円から1,080円に改めます。

また、保育士（補助）の時間単価を1,100円から1,130円に改めます。

3「施行期日」です。公表の日から施行し、令和4年10月1日から適用いたします。

補足説明になります。なお、この規程の改正は、町田市会計年度任用職員の報酬に関する規程に準じており、当該規程の改正が9月1日に決定されたことから、本定例会への上程となりました。

もう一枚おめくりください。

こちらは、改正前と改正後の規程につきまして、表でまとめたものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して、何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第20号は原案のとおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

日程第3、報告事項に入ります。

本日の報告事項は6件ございます。

まず、報告事項(1)について、担当者からご報告させていただきます。

○指導室長(兼)指導課長 報告事項(1)「令和4年度全国学力・学習状況調査の結果と分析について」、ご報告申し上げます。

まず、1「目的」。3点ございます。

(1)「『令和4年度全国学力・学習状況調査』における町田市の調査結果を分析し、教育施策の成果と課題を検証して改善を図る」。

(2)「学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図る」。

(3)「教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」。

2「主な内容」でございます。こちらには5点書かせていただいておりますが、具体的には詳細を資料でご報告いたします。

1ページをご覧ください。

こちらには小・中学校別の教科別での平均正答率を町田市・全国・東京都で示しております。全国より上回っているものを桃色、下回っているものを青色で示しております。

小学校の国語科及び算数科は全国を下回っておりますが、小学校の理科、中学校の数学科及び理科においては全国を上回っている状況です。

2ページから10ページにおきましては、小学校及び中学校の各教科の結果をお示ししております。差が3ポイント以上あるものにつきましては色を濃く表示しております。

3ページをご覧ください。

小学校算数科の結果でございます。真ん中あたりに「問題ごとの平均正答率」がござい

ます。

1 (3)「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる」の項目につきましては、全国より4ポイント以上低くなっております。この問題は、絵や式を用いて除法で求めるというところまでは問題で示されており、理由を、言葉と数を用いて表現するという問題でございます。授業の中で答えが合っているか間違っているかということだけではなく、答えをどう導き出したかという道筋を説明する場面を重視し、数学的な見方、考え方を身につけていくことができるよう指導を重ねていく必要があると考えております。

続きまして、7ページをご覧ください。

中学校国語科の結果でございます。下半分の表の「問題ごとの平均正答率」をご覧ください。

2三の「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」の項目につきましては、全国よりも4ポイント以上低くなっております。この問題の誤答の傾向を見ますと、文章を書く力はございますが、求められる条件を踏まえて書く力が不足している傾向にございました。比較や分類、関連づけなどの情報の整理の仕方や、引用した文章を使うときの決まりなどについて、さまざまな教科の中で扱っていくことが重要であると考えております。

続きまして、11ページをご覧ください。

6「質問紙調査結果」、(1)「児童生徒質問紙」、(2)「学校質問紙」について、14ページまでまとめさせていただいております。こちらにつきましては町田市の学力向上及びICTの活用に関する施策との関連項目を抜粋してお示ししております。

それぞれの項目を見てみますと、肯定的な回答が全国同様の傾向、または全国を上回るという傾向から、「授業をデザインする8つの取組」、今年度は重点を4つの取り組みとしておりますけれども、この取り組みをもとに、言語活動を中心とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の成果が出てきているというふうに捉えております。

続きまして、15ページをご覧ください。

7「児童・生徒質問紙調査と教科（平均正答率）クロス集計から相関関係があるという項目で、かつ、町田市として肯定的回答が低い傾向の項目」についてまとめさせていただいております。

②をご覧ください。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

という項目につきましては、子どもたちのさまざまな取り組みを価値づけ、それを言葉にして表現し、子どもたちの自己有用感につながるように今後さらにしていくことが必要であるという結果が出ております。

続きまして、16ページをご覧ください。

8『令和4年度児童・生徒の学力向上を図るための調査』の結果との関連」についてまとめております。

(1)「学習の動機」として、「分かることやできることが楽しいから」の問いに対しては、肯定的回答が東京都の平均よりも高い傾向であることがわかります。逆に「学習の進め方」に関する項目につきましては、東京都よりも低い傾向がございます。今後も子どもたちの意欲を高め、明日も受けたい、来週も受けたいという意欲を持たせる授業づくりに取り組んでまいります。

17ページをご覧ください。

下のほうにある9「調査結果分析に基づく町田市教育委員会の取組」についてでございます。

こちらには4点挙げさせていただいておりますが、(4)「自己有用感や学習動機を高めるための教育の在り方や、学習の進め方(学び方)を身に付けさせる指導法についても検討していく」。これは各学校で取り組んでいく必要がありますし、教育委員会としても取り組むべきであると考えております。

それでは、一番初めの3「活用方法」にお戻りください。

5点ございます。

(1)、各学校において、今ご説明させていただきました資料を参考に、調査結果を各学校ごとに分析して、10月末までに授業改善推進プランを作成いたします。また、全教員一人ひとりが実施いたします町田市スタンダード授業改善シートを活用した授業分析を行い、日々の授業改善を図ってまいります。

(2)教育委員会において、本調査結果と、市独自のICT活用状況調査や「授業をデザインする8つの取組」の実施状況等を関連づけて分析し、今後の研修内容や学力向上推進施策の取り組みの改善及び充実を図ってまいります。

(3)学習習慣の確立及び家庭学習の推進を図るために、保護者・地域に周知をしてまいります。

(4)組織的な授業改善のPDCAサイクル化を図るために、定例校長会や定例副校長

会、教務主任会や研究主任会、若手教員育成研修やICT活用研修等で周知をしております。

(5) 町田市ホームページ「まちだ子育てサイト」におきまして、結果と分析について公開し、町田市教育委員会の取り組みの周知を図っております。

4 「配布及び公開」についてです。

3点ございます。

(1) 各学校におきましては、各学校の結果を本調査結果とともに、あわせて分析いたしまして、その結果について学校だより及び各学校のホームページのトップページに掲載して公開をいたします。

(2) 町田市教育委員会での結果、分析につきましては、町田市立小・中学校の管理職及び教員に配布をいたしまして、各学校の教育の充実に資することができるように活用を推進しております。

(3) さらに町田市教育委員会での結果、分析につきましては、町田市ホームページ「まちだ子育てサイト」において公開をしております。

報告は以上です。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。

○**後藤委員** 質問ですが、1ページ目に出ている町田市の国語、算数、理科、数学などの平均と東京都あるいは全国を比較して、およそ町田市は全国に対しては、小学校は全国水準の99ポイントの割合である教科があり、中学校の場合は101ポイントがあるなど、平均を上回る、あるいは下回るという結果が出ています。これは例年の傾向と比べてほぼ同じなのか、何か少しでも上がっているのかというようなことが、今お手元の資料でおわかりになりますでしょうか。

○**指導室長（兼）指導課長** 昨年度、令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果の傾向から見ますと、昨年度は小学校の算数は、全国と比較いたしまして0.8ポイント高い傾向にございました。今年度は全国より0.2ポイント下回っているという状況から考えますと、およそ大きな差ではないと考えれば、傾向としては同じような傾向でございます。

中学校におきましては昨年度も全国を上回っている状況でございます。

○**後藤委員** ということは、ほぼ横ばいというか、ほぼ同程度のことが、ここ2～3年というか数年はそのような傾向だと思うのです。これまでいろいろ対策をとられてきて、

授業改善をしている。まさに指導法の改善をして、学び方などにも力を入れてきて、ここ1～2年やっていますね。あるいはICTなどの活用を含めて、一人1台タブレットの活用、「navima」などを取り入れて基礎的な学力を習熟させようと取り組んで、初めて1年というところでしょうか。調査の実施日は4月ですよ。だから、直接そこには間に合っていないんだろうと思いつつも、その関係性というのは何か捉えていますか。

○指導室長（兼）指導課長 成果というところで申し上げますと、ICTの活用が始まったのが昨年の5月末あたりから、しっかりと全校に導入し、スタートすることができたので、その結果が反映されているかというご質問に対しましては、まだ1年たっていないということからも、次年度の結果に反映されないかどうかというところは見ていく必要があるというふうに捉えております。

ただ、そうはいつでも、およそ1年間たっているという状況を考えますと、やはりICTの活用の仕方や、後藤委員がおっしゃられました「navima」の活用の仕方については検討をしていく必要があるというふうに捉えております。

○井上委員 小学校の国語、算数、理科の「問題ごとの平均正答率」を見ますと、ピンクのところの「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」、「目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる」、「実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる」という話すこと・聞くことを中心とした応用力がある一方で、青い部分の「漢字を文の中で正しく使う」、「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」、「除法で求めることができる理由を記述できる」、「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」といった基礎的な部分が全国平均を下回っていることが気になりました。

先ほどの話にもありましたように、町田市ではドリルソフト「navima」を取り入れています。使用頻度や定着率については教育委員会のほうで把握されていますでしょうか。

○指導室長（兼）指導課長 「navima」の活用につきましては、各学校ごとの状況を毎月、教育委員会のほうで把握をいたしまして、その状況が著しく低い場合につきましては、その理由とか状況について確認をするようにしております。

国語科で申し上げますと、昨年度も基礎的・基本的な部分につきましては低い傾向があり、活用については割と上回るという同じ傾向がございますので、これは本市の子どもたちの状況であると認識しているところでございます。

○関根委員 今回は町田市全部の平均がデータとして出ているわけですが、皆様

からも今ありましたように、学力につきましては各学校さまざまで、差もあると思うのです。なので、各学校の管理職、特に校長先生が意識を高く持って、この結果を自分の学校でしっかり分析をして、子どもたちの学力向上に努めていただきたいと思うとともに、今後は教育委員会と学校とで、助言とか指導を含めまして、協力し合って進めていただきたいと思っています。

○森山委員 全国学力・学習状況調査の目的は、先ほど小池室長のご説明のとおり、3点あったわけです。その中で、各学校において、児童・生徒への教育指導の充実や、学習状況改善等に役立てるというところが、今回の町田市において大変重要な役割になると思います。それに加えて、継続的な検証と改善、特に町田市立学校全体としては、指導室をもとに、的確な分析と授業改善のポイントが示されていることが理解できました。

ただ、私のほうから、2点意見といいますか、今日感じたところですが、先ほど関根委員からもお話がありましたように、やはり地域・学校間の格差が大きいと思います。このことは各学校での詳細な分析が学力の向上の大きな鍵となるということ認識しています。ということは、学力と評価についてのさらなる研修をこれまで以上に行うことが必要ではないかと感じました。

それから、各学校が、それぞれの学校の詳細な分析をもとに、校長先生が責任を持って実施するわけですから、それは改善の糸口になるし、そのためにはP D C A（プラン・ドゥー・チェック・アクション）が重要で、校長先生がその学校の状況をきちんと理解した上で、一律ではなくて、その分析を通してきちんと計画を立てることが学力の向上につながるのではないかと思います。今も校長会等を通じてというご説明がありましたが、ぜひそのところを徹底して、各学校の校長先生が、詳細な分析をもとに、P D C Aの流れをしっかりとつくっていただきたいと思います。

○井上委員 17ページの分析を拝見すると、学習動機、「分かることやできることが楽しいから」の項目は、肯定的回答が東京都より高いのに対して、「難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる」の項目は、肯定的回答が東京都より低いという点は、15ページの②「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という肯定的回答の低さも影響しているのではないかと思います。

今後について、15ページ下に「子どもたちのよさを認め、価値付ける」とありますが、よいところも悪いところもありのままを受容し、子どもたちはそれが自分の強みなのだという事に気づき、自信を持って学習に取り組めるようなバックアップを先生方をお願い

したいと思います。

○後藤委員 学校を訪問させていただいていると、今年度になって、ICTの活用に習熟というか、少し慣れてきた。習熟までいかないでしょうかね。昨年度はまだまだ導入時期で、それが十分効果的に活用されるにはまだ初期の段階だったのだらうと思うのです。これからその効果が出てくることもやはり期待しなくてはいけないのではないかと思いますのですね。

それと同時に、学び方や学習に対する取り組み方というのが改善の方向に来ているとも感じるのです。きっとそのようなことがうまく回るようになるというか、子ども自身が感じて、自分が主体的な学びをしているのだということを実感しながらいくと、当然それは学力や学習状況の結果として出てくるのではないかと期待しているところです。

町田市としては、今、全国をベースにして町田の平均を考えているのですが、東京の中でも、点数で言えば、あと数点なんですけれども、東京都の平均を上回るというところを、1つのターゲットとして、次の段階に進んでいっていただきたいなと期待しています。

ここ数年間、私も校長時代からずっとかかわって、町田市の取り組みと学力の結果を見ているのですが、確かに横ばいはしばらく続いてきているのですけれども、期待を込めて、少しずつですが、それが上がっている方向に行っていると思っています。諦めずに粘り強く、特に学校が中心となって、子どもたちの学び、そしてそれが子どもたちの幸せにつながることを考えながら、この学力の結果を受けとめて進んでいただきたいなと期待しております。

○教育長 全国学力・学習状況調査の結果につきましては、町田市の平均値を国や都と比較し、分析を行って、それを学校に配布して、各学校でそれぞれの取り扱いといいますか、さらなる分析をしております。

学校ごとのよりきめ細かい分析をもとにした指導というか、指導方法の工夫というか、ご意見にありました経年の変化とか、「navima」の活用状況の分析も含めて、自校の課題というものをよくつかんだ上で、今後どうしていくかという具体的な指導方法の改善に努めていただくように、各学校にはお願いしていきたいと思っておりますし、教育委員会としても、全体的な把握だけでなく、それぞれの学校の特色とか環境に合わせた指導方法の工夫に支援をしていきたいと考えております。

そのほか、ご意見よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（２）について、担当者から報告をさせていただきます。

○生涯学習総務課担当課長 報告事項（２）「町田市立自由民権資料館の常設展示リニューアル『自由民権運動と町田』の公開について」、ご報告をさせていただきます。

自由民権資料館では、町田の歴史と自由民権運動をわかりやすく紹介するために、常設展示をリニューアルし、11月3日より公開をいたします。

自由民権運動とは、明治時代に人々の権利や自由、憲法・国会について真剣に考え、実現を目指したものですが、この運動は町田市域でも活発に行われました。

このことについて、2「展示構成」のとおり、3つのコーナーに分けて紹介をいたします。特に「自由と権利をもとめて」のところでは、全国における自由民権運動の様子を紹介するという新しい視点が加わっています。

関連企画としまして、11月20日に記念講演を行います。

周知については、「広報まちだ」10月15日号に掲載いたします。次のページにチラシをつけておりますが、こちらのチラシを公共施設、小・中学校等に配布してまいります。

説明は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

次に、報告事項（３）について、担当者から報告をさせていただきます。

○生涯学習センター長 報告事項（３）「2022年度生涯学習センターまつり」の開催について、ご説明いたします。

生涯学習センターでは、毎年10月下旬に生涯学習センターまつりを開催しております。このお祭りは、生涯学習センターで活動する団体さんの成果発表の場の提供と、利用したことのない市民の方に知っていただくことを目的に実施しております。

2022年度は「コロナに負けず みんなで咲かそう まつりの華」をテーマに、3年ぶりの来場型で開催いたします。

開催期間でございますが、10月22日、23日です。

実施内容でございますが、今年度は31団体が発表や展示などで活動の発表を行います。

1枚おめぐりください。

他の祭りとの連携ですが、23日は「町田時代祭り」、「文学館まつり」、「ゆうゆう版画美術館まつり」と、4つの祭りが開催されます。それぞれの祭りを回遊していただくため

のスタンプラリーを実施するなど、工夫をしてみたいです。

もう一枚おめくりください。

生涯学習センターまつりのチラシを掲載しております。

報告は以上です。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

次に、報告事項（４）について、担当者からご報告いたします。

○**図書館長** 報告事項（４）「町田市立図書館電子書籍サービスの開始について」、ご説明いたします。

町田市立図書館では、時間や場所に左右されず、いつでもどこでも利用できる電子書籍サービスを開始いたします。

電子書籍サービスについては、資料の下部に※印で説明が書いてございますが、図書館が契約する事業者が構築する電子資料の配信サービスを、スマートフォンやタブレットやパソコン等の端末を通して読むことができるというサービスでございます。電子書籍サービスは、音声読み上げ機能とか拡大機能が使用可能でございますので、紙の資料に加えて、より多くの方が図書館のサービスを利用できる環境となってまいります。

開始日時です。10月18日（火）10時をもって開始いたします。

サービス内容といたしましては、対象者は図書館の利用券をお持ちの市内在住・在勤・在学の方々になります。

資料数は、今年度末時点で3,500点のコレクションを考えております。

貸し出しにつきましては、お一方3点まで。貸出期間は2週間となります。電子書籍サービスは、いわゆるシステム上で365日、24時間稼働しておりますので、この2週間というのは、イコール336時間という形になります。

ほかに待っている方がいらっしゃらない場合、延長は予約がない場合に1回まで、プラス336時間可能となっております。今、人が読んでいらっしゃるご本などの予約につきましては3点まで、置き期間は3日間、やはり72時間という形になります。

利用方法につきましては、町田市図書館のホームページがございます。こちらのほうのリンクから直接専用サイトにアクセスする形となっております。

広報につきましては、既に10月1日より図書館独自のホームページ、ツイッターがご

ございますので、そちらとか、図書館の館内の掲示を行っております。

プレスリリースにつきましては直前の10月12日、「広報まちだ」には10月15日号に掲載する予定となっております。

説明は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

次に、報告事項（5）について、担当者からご報告いたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（5）「浅野いにお展 ―the personality of the city―」の開催について、ご説明申し上げます。

文学館では、10月22日（土）から12月25日（日）まで、町田ゆかりの漫画作家である「浅野いにお展 ―the personality of the city―」を開催いたします。

浅野さんは1998年、高校2年生のときに商業誌デビューし、その後、玉川大学に入学しました。18歳から24歳までの6年間を町田市で過ごし、代表作に「ソラニン」や「おやすみプンプン」、「デッドデッドデーモンズデデデデストラクション」などがあります。「ソラニン」は実写映画化もされ、「デッドデッドデーモンズデデデデストラクション」は第66回小学館漫画賞一般向け部門と第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

先進的なデジタルツールを駆使し、新たな作画表現を模索し続けるスタイルに注目が集まる一方で、浅野さんが紡ぎ出すのは、10代、20代の若者が、心の奥底に抱える不安や葛藤、日々の暮らしの中で感じる疑問や怒りをもとにした半径5メートルの身近な物語です。

こうした人間の複雑な内面を描くに当たり、浅野さんが大切にしているのが、作品の舞台や登場人物が暮らす街の持つイメージです。浅野さんは、東京なのか、地方なのか、その東京に住んでいるキャラが何区に住んでいるのかで人間性が変わってしまうとか、舞台として、街があって、そこに暮らす人たちという順番になると語っています。

サブタイトルを「―the personality of the city―」とした本展は、こうした舞台としての街をテーマに、改めて浅野いにお作品の魅力に迫る展覧会です。

観覧時間は午前10時から午後5時までとなっております。金曜日はナイトミュージアムとして午後8時まで開場いたします。

観覧料は、一般600円、大学生、高校生、中学生は300円、小学生以下は無料となっております。無料観覧日として、文学館まつり開催の10月23日（日）と11月3日（木）、「文化の日」の祝日となっております。

関連イベントとして、小説家のカツセマサヒコさんと浅野いにおさんとの記念対談や、浅野いにおさん単独でのトークショー、「ソラニン」の映画鑑賞会などをご用意しております。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問などございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

最後に、報告事項（6）について、担当者からご報告をいたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（6）「第16回文学館まつりの開催について」、ご説明差し上げます。

文学館まつりは、地域の方々のつながりをつくり、市民に文学館を知っていただく機会となることを目的に、2007年度から開催しております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2019年度から中止が続いていましたが、今年は3年ぶりに開催いたします。

また、同日開催する町田時代祭り、生涯学習センターまつり、ゆうゆう版画美術館まつりとの連携企画として、各祭りを回るスタンプラリーの実施を予定しております。

開催日時は、10月23日（日）の午前10時から午後4時までです。

主な出し物は、ワークショップ、落語会、子ども向けのおはなし会などです。また、文学館通りを歩行者天国として、古本のフリーマーケットやミニライブを行います。

報告は以上となります。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

予定されました本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局のほうから何かありましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で町田市教育委員会第7回定例会を閉会いたします。

午前10時50分開会

